

27 進路の話

場面：Podcast配信

状況：高校生がMCを務めるネットラジオ番組。今回の担当のエリカが進路の悩みについて話す

登場人物：A（女性、高校2年生Podcaster（エリカ））

A：こんにちは。高校2年生のエリカです。今日のネットラジオ「高校生の未来」の時間は、ちょっと真面目な話をします。テーマは「進路」——つまり、将来のことです。

今、私のまわりの友だちは、みんな進学とか就職のことで頭がいっぱいです。高校を卒業したらどうするか、そればかりを話しています。もう学校の推薦をもらって進学が決まった人もいれば、専門学校とか大学のオープンキャンパスに行っている人もいます。試験勉強をがんばっている人もたくさんいます。

でも、私とはというと、正直、まだ自分の進路をはっきりと決められていません。小さいころから「看護師になりたい」と思ってきたけれど、高校に入って理系科目の勉強が難しく感じるようになって、「本当に看護師になれるのかな」「私に向いてるのかな」と不安になってしまいました。まわりの友だちがどんどん進路を決めていくのを見て、あせる気持ちもありました。

そんなとき、担任の先生に相談してみました。先生は、「やってみないと分からないこともあるよ」と、やさしく言ってくれました。その言葉に背中を押されて、病院の見学に行くことにしました。実際に働いている看護師さんたちの姿を見たり、話を聞く中で、ある言葉がとても心に残りました。

ある看護師さんが、「いちばん大切なのは、目の前の人を助けたいという気持ちだよ」と言っていたんです。その言葉を聞いたとき、「ああ、私もこの仕事をやりたい。目の前の人を助けたい。やっぱり、あきらめたくない」と思いました。

もちろん、今でも勉強は得意ではないけれど、自分なりに少しずつがんばっています。未来のことは、正直言って不安ばかりです。でも、自分で考えて、自分で選ぶことが大事だと、今は思えるようになりました。

今日も聞いてくれてありがとう。また来週！